



古くて新しい神楽坂に触れるまち歩き

人の輪 まちの輪 広がって



内藤七色とうがらし作りに挑戦



似顔絵で歌舞伎町に笑顔を

あけまして
おめでとうございませす



新宿区長
中山弘子

持続可能な都市を目指す新宿区にとってうれしいニュースは、ここ数年、区内で生まれる子どもの数や、身近な草花や樹木等の緑の量が増えていることです。

新宿区の出生数は平成8年には千638人と、昭和40年代の4分の1にまで減少しましたが、全国的には近年、出生数が減少する中、平成21年、22年には2千200人前後と増加しています。全力を挙げて子育て支援策を進めてきた結果、新宿区を「子育てしやすいまち」と考える人の割合が増えたことが、出生数の増加につながったと思います。

また、新宿区の緑はこれまで減少を続けていたのですが、平成22年度の第7次みどりの実態調査で、初めて実質的に緑が増加していることがわかりました。面積にして7.31ヘクタール、東京ドーム1.5倍以上の面積が5年間で増えています。緑については、一定規模以上の建物の建設時に義務付けている緑化計画書の制度や「りっぱな街路樹運動」、屋上緑化の推進等が実を結んだものと考えています。

時代の大きな転換期、経済環境が大きく悪化し、財政状況も厳しさを増す中、急速に進む少子高齢化への的確な対応や持続可能な都市環境の創造が、今こそ求められています。新宿区は、本年も区民の皆様が安全・安心に暮らせることはもとより、次の世代が夢と希望を持って、心豊かに平和に生きることができる安定した社会を目指してまいります。

そのためには、これからも地道に施策の推進を図るとともに、誰もが当事者となって、他者への想像力の翼を大きく広げ、新宿のまちを担うことが必要です。区民の皆様とともに新宿のまちを愛し、誇りを持てるまちにしていきたいと考えています。また、東日本大震災被災地の一日も早い復興をお祈りいたしますとともに、復興支援の取組みを引き続き行ってまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。